

■素朴と根本・不戦の前提■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 449 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

名刺交換した方や、突然思い出した方にもお届けしますので、ご迷惑であればお知らせください。

できれば勤務先でなく、個人のアドレスにお届けしたいので、ご連絡ください。

ご意見、ご質問大歓迎です。

.....

449 目次

1. ご挨拶とお誘い
2. まつむら塾より
3. ブログより：素朴と根本・不戦の前提
4. 今週の動向＋今後の予定
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. ご挨拶とお誘い

先週のご報告。

予定通り、17 日には無事退院し、松葉杖生活がスタートしました。

18 日には、玉川署のお巡りさんが迎えに来て、交通事故の現場検証に出かけました。

相手側車両のドライブレコーダーに、衝突前後の僕がぼんやり映っており、信号無視（見落とし）の加害者でした。

漫然と運転していたこと、そして任意保険に加入していなかったことを後悔し、深く反省しています。

・

今週は、社会復帰の週。

思い切って、母と妹が暮らす「日楽庵（ひらくあん）」と活動拠点の「笑恵館」を行き来してみることにしました。

まず、月水金日は日楽庵、火木土は笑恵館で暮らすことにして、夜間車で移動します。

食事は朝夕 2 回日楽庵だけで摂ることにして、笑恵館でひたすら作業します。

つまり、週 3 日はめいっぱい仕事して、残りの 4 日は療養を含めリラックスする作戦です。

ここ数年、一日二食で暮らしてきた僕にとって、入院中の三食生活はかなりのストレスでした。

元来がつつり食べて眠くなる性質なので、昼抜きは僕にとって合理的。

もちろん、あまり厳密にやるつもりはありませんので、緩々と体を慣らしていこうと思います。

皆さんからのお問合せをお待ちしています。

.....

2. まつむら塾より

今日から、笑恵館でのリアル開催を再開します。

また、毎週水曜夜のオンライン講座は、受講生が体調不良のため一人になってしまったため、追加受講生を募集してから再開することに致しました。

現在開催が決まっているのは下記の通り（1か月分）。

名称	日時・内容	場所	受講料
よろず相談	毎週土曜日 10-17時	笑恵館	無料
実現学（夜教室）	受講生が一人になったため、休講して追加募集いたします。	zoom	3,000円
実現学（火朝教室）	11/21(火)10-12時・B22.清書の意味 11/28(火)10-12時・B23.表現の工夫 12/12(火)10-12時・B24.伝達の確認	笑恵館	3,000円

その他、希望者さえいれば、全講座新規開講いたしますので、気軽にお問い合わせください。

■地主の学校・販売中

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

3. ブログより：素朴と根本・不戦の前提

1879年、アルベルト・アインシュタインはドイツで生まれた。

1905年に発表した「運動している物体の電気力学（真空中を飛ぶ光の速度が一定不変であることの論証）」が、後に特殊相対性理論と呼ばれ世界をひっくり返すことになる。

一躍著名人となった彼は「16歳のころ“光の速度で進んだとき、自分の顔は鏡に映るだろうか？”という疑問を持ったことが、全ての始まりだった」と述懐する。

1907年、有名な式 $E=mc^2$ を発表したこの年には、「箱の中の観測者は、自らにかかる力が慣性力なのか重力なのか区別ができない」という、後の一般相対論の基礎となるアイデア（等価原理）を考案。

アインシュタインはこれを「生涯最良の名案」と述べた。

重力と慣性力の区別は、ニュートン力学が確立した17世紀からもはや世界の常識となっていたが、自分自身の体がそれを区別できない以上、それらは同じなのではないかという疑問。

いずれの疑問も極めて素朴な疑問だが、どう考えても理解できない説明できないことが共通する。

難問だからこそ立ち向かってしまう僕にとって、アインシュタインの業績は極めて興味深い。

・

特殊相対性理論の核心は、光の速度が不変であることの立証だが、その答えは「空間と時間は速度に応じて歪んじゃう」というとんでもないものだった。

それまでのニュートン力学の世界では、時間と空間は誰にとっても共通で、全ての物体がその絶対的な時空の中を動いているはずだった。

だが、1887年に行われたマイケルソン-モーリーの実験によってすでに実証された「光速不変の法則」には、エーテルという未知の物質の存在が（無理やり）仮定されていた。

このことは、かつての天動説において、難解な天体の動きを見事に説明していた妙を思い出させる。

地動説を唱えたコペルニクスが「自分（地球）が宇宙の中心だ」という前提に疑問を持ったのと同様に、アイ

ンシュタインは「空間と時間の絶対性」に疑問を持った。

「素朴な疑問」とは、時として「根本的な疑問」であることを教えてくれる。

・

いきなり卑近な話に飛ぶことをお許し願いたいですが、僕は「素朴な疑問」を「根本的な疑問」に育てることが大好きだ。

「素朴な疑問」が誰もが知っている身近な疑問であるのに対し、「根本的な疑問」とは誰もが疑わない前提条件に対する疑問のこと。

つまり、「誰も疑わないのはなぜか？」こそが、僕の最大の関心事だ。

人はなぜ夢の実現を諦めるのか、なぜ大多数の人が「夢を実現できるのは一握りの少数」という前提を疑わないのだろうか。

こんな疑問が「実現学」を生み出した。

そしてまた、「地主とは土地所有者のこと」のはずなのに、大多数の土地所有者が「自分は地主じゃない」と考えるのはなぜかという疑問から、「地主学（地主の学校）」が生まれた。

・

アインシュタインの気付きは、「誰も疑わないことこそを疑うべき」と教えているが、科学とはそもそもそういうものだ。

すべてを疑うとは、性格が悪いのでもへそが曲がっているのでもなく、全てに興味を持ち考えることを意味している。

特殊相対性理論が生まれ受け入れられたのは、「光速不変の法則」を理解したいという欲求の高まりがあつてこそ。

偉大なアインシュタインが世界を変えたのではなく、世界の変わり目にその気づきを担ったのがアインシュタインだけのことと僕は思う。

その後のアインシュタインは、自ら導き出した宇宙の膨張を否定しただけでなく、相対性理論から発想されたブラックホールの存在まで「そんなものあるはずない」と否定したそう。

結局、世界の科学者たちはアインシュタインを乗り越えてさらにその先を進んでいる。

・

さて、今日の本題はここからだ。

僕は日本国憲法と相対性理論が極めて類似すると感じている。

2度の世界大戦を経て、戦争の仕組みになり下がった国家による世界は、いまだに戦争を回避する仕組みを作れていない。

「世界平和が実現しないのは、まだ誰もこの問題が解けていないから」と大多数の人が諦めているように思えるが、それは果たしてそうだろうか。

全ての人が望むなら実現しないはずがなく、そもそも世界平和を望んでいない人が大多数を占めているのかもしれないと僕は疑う。

そんな中、日本国憲法が掲げる「戦争の放棄」こそが、戦争を排除するための唯一明確な答えだと確信する。

・

日本国憲法の特に戦争放棄の部分について、その非現実性や他律性（米国の押し付け）を唱える人々の愚かさは、これを「相対性理論」に置き換えることで良く分かる。

戦争を放棄せずに戦争を無くすことなど、本当にできると思っているのか。

それは時間と空間の絶対性を盲信するのと変わらない。

光速が一定であるように、戦争をしないという前提で、世界を考えるべきだと僕は思う。

戦争をしないなら、絶対に軍備など必要ないし、敵国の想定や威嚇はもちろんのこと、多数派工作すら無意味

のはずだ。

という訳で、僕は戦争放棄を前提に、地域・国・世界を作ってみたい。

これに対する異論や反論があれば、是非とも聞いてみたい。

<https://nanoni.co.jp/20231119-2/>

.....

4. 今週の動向+今後の予定（下記以外はまつむら塾受付中）

【凡例】◎：要連絡、○：要申込、×：一般参加不可

■今週の動向

(火) 11/21 笑恵館作業日

講義○：10-12時 まつむら塾：実現学 B22.清書の意味（笑恵館）

(水) 11/22 日楽庵作業日

検診×：10-12時 関東中央病院（上用賀）

会議○：16-18時 隅田金融モデル第2回検討委員会（zoom）

講義○：20-22時 まつむら塾：実現学 B13.who（zoom）

(木) 11/23 笑恵館作業日

(金) 11/24 日楽庵作業日

(土) 11/25 笑恵館作業日

交流◎：10-17時 よろず相談会_土（笑恵館）

会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_4木（笑恵館）

(日) 11/26 日楽庵作業日

(月) 11/27 日楽庵休業日

■今後の予定

11/28 会議○：20-21時 LR 定例会議_4火（zoom）

11/28 講義○：10-12時 まつむら塾：実現学 B23.表現の工夫（笑恵館）

11/29 講義○：20-22時 まつむら塾：実現学 B15.when（zoom）

11/30 交流◎：10-12時 笑恵館 de シネマ_4木朝（笑恵館）

11/30 交流◎：19-21時 笑恵館 de シネマ_4木夜（笑恵館）

12/02 交流◎：10-17時 よろず相談会_土（笑恵館）

12/06 講義○：20-22時 まつむら塾：実現学 B21.二人の自分（zoom）

12/12 会議○：20-21時 LR 定例会議_2火（zoom）

12/16 会議○：10-12時 八島花文化財団理事 MTG_3土（zoom）

12/16 交流○：18-20時 住人食事会_3土（笑恵館）

12/21 交流◎：13-18時 なるほどデイ_3木（笑恵館）

12/21 交流◎：18-20時 持ち寄り食事会_3木（笑恵館）

12/21 会議○：20-22時 AR・Q ミーティング_3木（zoom）

12/24 交流○：10-14時 名栗の森 OSC 例会_4日（飯能）

12/28 会議◎：17-19時 笑恵館運営会議_4木（笑恵館）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>